

科目名 (英)	接客シミュレーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岡村奈奈
学科・コース	ホテル&リゾート科(昼間部二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	月・3
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてブライダルプランナーとして、20年以上にわたって第一線でお客様の指名を受け続ける講師が、接客に必要なマインドとスキルについて講義をします。要望に応えるだけでなく、その先の満足や感動を生み出す介在価値に軸をおいた、実践的なケーススタディ(ワーク)やロープレを取り入れた授業です。</p>							
<p>【到達目標】 多様性の時代における接客のあり方を理解する/顧客とのアサーティブなコミュニケーションを構築するスキルを学ぶ/理解したことを自分の言葉で他者へ伝えることができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	はじめに/各自の目標設定と授業全体の到達目標の確認/私たちが目指す接客のあり方とは
2回目	多様性の時代における接客(ケーススタディ)
3回目	アサーティブ・コミュニケーションとは
4回目	顧客とのアサーティブなコミュニケーションを構築するには ①
5回目	顧客とのアサーティブなコミュニケーションを構築するには ②ロープレ
6回目	ケーススタディ①(取材/問題提起)
7回目	ケーススタディ②(ワーク)
8回目	ケーススタディ③(取材/問題提起)
9回目	ケーススタディ④(ワーク)
10回目	ケーススタディ⑤(取材/問題提起)
11回目	ケーススタディ⑥(ワーク)
12回目	ケーススタディ振り返り・レポート作成
13回目	ケーススタディ振り返り・レポート作成
14回目	レポート発表 ★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	復習・情報収集
評価方法	授業内の積極性、提出物、レポート発表
受講生へのメッセージ	1年次の「接客シミュレーションI」をベースにした、さらに社会や時代の変化に対応できる実践的な判断やスキルが身につくことを目指した内容です。接客は人と人のコミュニケーションです。学びが日常生活をさらに豊かにして喜びにつながるよう、一緒に頑張りましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具/ノート or PC or スマートフォン(自分の考えをメモする/調べ学習を行なう)/PC orタブレット(レポート作成)</p>	

科目名 (英)	ブライダルプランニング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡村 奈奈
学科・コース	ホテル&リゾート科(昼間部二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 3	開講区分 曜日・時限	火曜日2・3・4
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界にてブライダルプランナーとして、20年で約800組の婚礼を担当した講師が「プランニング」を軸にした講義を担当します。結婚式を挙げようとするカップルがどんなことをきっかけに、どのように動き出し、どのような準備を経て結婚式を迎えるのか、当日だけではなく準備プロセスにも焦点を当てた内容とします。カップルとウエディングのプロたちの動きを深く理解することで、知識だけでなく、想像する力を身につけられる、より実践的な学習を目指します。							
【到達目標】							
結婚式を挙げようとするカップルの初動から実施に至るスケジュールと準備や検討に関する全体像を理解すること。 カップルが直面するさまざまな選択に対し、適切な提案やアドバイス、選択肢をしめすことができること。 婚礼分野のプロとして、魅力的なウエディングをプランニングすることができること。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／プランニング導入
2回目	結婚式準備スケジュール(準備初期)
3回目	結婚式準備スケジュール(準備中期)
4回目	結婚式準備スケジュール(準備後期)
5回目	結婚式スケジュール(当日/新郎新婦)
6回目	結婚式スケジュール(当日/親族・ゲスト)
7回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう①
8回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう②
9回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう③
10回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう④ *プレゼンテーション
11回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう⑤
12回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう⑥ *プレゼンテーション
13回目	「ウエディング準備ノート」を作ろう⑦
14回目	★評価週(プレゼンテーション)
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	復習、しらべ学習、資料の用意など
評価方法	授業態度(積極性/配布物の管理)、提出物、プレゼンテーション
受講生へのメッセージ	本授業では、基礎的な知識をベースとしながら、プロならどのような対応や判断をするか、アイデアをどのように具現化するか、お客様の存在を想定してプランニングしますので、本物と変わらないプランニングを学ぶことができます。考え方、動き方、調べ方などを学び、身につけると同時に、企画者として社会に通用するアイデアをかたちにできる喜びも味わうことができると思います。
【使用教科書・教材・参考書】	
スマートフォンor PC、資料を保管するファイルなど	

科目名 (英)	接客シミュレーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡村 奈奈
学科・コース	ホテル&リゾート科(昼間部二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	木曜日3、4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界にてブライダルプランナーとして、20年で約800組の婚礼を担当した講師が、顧客との信頼関係を構築するための基礎的なマナーとコミュニケーションについて接客をシミュレーションした項目に基づいた講義をします。ブライダル業界で働く人材に必要な5つの能力と良好な人間関係を築くことのためのヒューマンスキルを習得することで学内外の活動をより意味深く豊かになるような土台づくりをします。</p>							
【到達目標】							
<p>ブライダル業界で活躍できるレベルを指標として、各自がより具体的に将来の目標を描くことができること。 感覚的ではなく、習得したスキルを生かして、学生が相互に、あるいは、講師などと積極的にコミュニケーションを図ることができること。 一般的な「いい接客」とはどのようなことか理解することができること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・接客の知識(接客の必要性/良い接客とは/接客要素/会話/所作)
2回目	基本のマナー(マナーとは/名刺交換/訪問のマナー/手紙のマナー/食事のマナー)
3回目	お呼ばれマナー(結婚式に招待されたら・・・)
4回目	話し方①(敬語/話し方/質問力)
5回目	接客ロープレ(挨拶、アイスブレイク、ヒアリング導入)
6回目	接客ロープレ(クローク/館内案内)
7回目	話し方②(ショートスピーチ/お祝いスピーチ)
8回目	話し方③(ビジネス敬語)
9回目	接客シミュレーション(ケーススタディ)
10回目	接客シミュレーション(ケーススタディ)
11回目	接客シミュレーション(ケーススタディ)
12回目	接客シミュレーション(ケーススタディ)
13回目	接客シミュレーション(ケーススタディ)
14回目	★評価週(試験・テスト)
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	授業態度(積極性)/ロープレ/ケーススタディ/提出物/試験
受講生へのメッセージ	本講義は、良好な人間関係を築くための基礎的なコミュニケーションとマナーを通じてブライダル業界で求められる人材について学び、そのスキルを身につけることができます。感覚ではなく技術として習得することで、どんな相手にも苦手意識を持たずに臨むことができるようになるので、学内外の活動にも有効です。
【使用教科書・教材・参考書】	
AJBA「ブライダルの基礎知識」/スマートフォンor PC/配布資料	

科目名 (英)	業界研究	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岡村奈奈
学科・コース	ホテル&リゾート科(昼間部二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	月曜日・時限
							月曜日4・5
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてブライダルプランナーとして、20年以上にわたってフリーランスとして第一線で活躍する講師と、業界内外から見た結婚式の話題や時事問題を研究する授業です。ブライダルのトレンドや価値観の変遷をとらえ、未来の進化にも対応できる柔軟な発想力を身につけることを目指します。</p>							
<p>【到達目標】 多様性の時代における結婚・結婚式のあり方について柔軟な発想力を身につける／伝統や慣習を守ることと変革や新しいトレンドを生むことを両立できるバランス感覚を身につける／さまざまなバックボーンや価値観をもつ相手に適切なボキャブラリーと話し方で対応することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	はじめに／各自の目標設定と授業全体の到達目標の確認／業界研究Ⅲ導入
2回目	日本のウェディング「なくなるもの・なくならないもの」(ワーク)
3回目	日本のウェディング「なくなるもの・なくならないもの」(ワーク)
4回目	研究テーマ①(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
5回目	研究テーマ①(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
6回目	研究テーマ①(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
7回目	クラス内発表
8回目	研究テーマ②(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
9回目	研究テーマ②(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
10回目	研究テーマ②(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
11回目	クラス内発表
12回目	研究テーマ③(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
13回目	研究テーマ③(ワーク/仮定/取材/分析/レポート作成)
14回目	クラス内発表 ★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	復習・情報収集
評価方法	授業内の積極性、提出物、レポート発表
受講生へのメッセージ	1年次、2年次に学習した基礎と応用を活かした実践の授業です。THLで学んだからこそ持っている知識や情報と自分の考えを自分の言葉で伝えられるプロになるための、卒業年ならではの「仕上げ」の授業です。素朴な疑問にまっすぐ向き合える、心のスタミナと人間力を身につけてほしいと思います。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具/ノート or PC or スマートフォン(自分の考えをメモする/調べ学習を行なう)/PC or タブレット(レポート作成)</p>	

科目名 (英)	セルフメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関本 利恵
学科・コース	ホテル&リゾート科(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	水曜日3・4
【授業の学習内容】							
<p>ヘア&メイクアップアーティストとして長年活動し、講師業・JMA認定講師・JMAシェウウエムラ認定講師、管理美容師、化粧品・ブライダル・エステティック・インナービューティなど様々な経験と知識を持ち、トータルビューティアーティストとして美容業界の多方面で活動している講師が担当します。</p> <p>授業内容は、これから社会の中で活躍する為にTHL学生として自分自身をより磨き、コミュニケーションを円滑に進めるためのセルフプロデュースを美容を通し学びます。オシャレと身だしなみの違い・個人の個性を座学で知り、TPOに合わせた自分のビューティープロデュースを知識・実践を通してできるようになります。接客業では必須となるほど欠かせない、好印象の自分づくりの為の授業です。前期ではベーシック編を、後期ではアドバンス編を通年で習得します。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> 自分がどのようなイメージや印象を持っているかを知り、プライベートとオフィシャルそれぞれのシーンで好印象の自分演出ができる。 スキンケアで土台を整え、メイクアップで印象表現、ヘアで清潔感、制服姿の私自身が凛と輝いて見えるようになる。 与えられた課題（様々なシーン）に対し学んだプロデュース力を最大限に活かし表現できるようになる 							
授業計画・内容							
1回目	〈オリエンテーション〉 授業内容等説明、目的を理解し目標設定できるようになる。(個人写真撮影予定) (筆記用具必須)						
2回目	〈トレンドに触れる〉 2024春夏のトレンドに触ることで美容の楽しみや時代の流行を感じることができる。						
3回目	〈自分を知る〉 顔の形やパーツなどを分析しどのようなイメージ(個性)をもっているか理解する。美容道具を学び使用法を知る。						
4回目	〈お肌を知る〉 ①皮膚の構造を学び化粧品の役割を学ぶ。自分のお肌を健康な美肌へとスキンケアで導くことができるようになる。						
5回目	〈メイクを知る〉 ベースメイク① 丁寧なファンデーション技術、化粧品の種類、シルク肌へ導くパウダー技術を学ぶことができるようになる。						
6回目	〈メイクを知る〉 ベースメイク② 肌色の補正、トラブルをカバーする技術、化粧品のアイテムを学ぶことができるようになる。						
7回目	〈メイクを知る〉 ポイントメイク① バランスの良いアイブロウメイクができるようになる。						
8回目	〈メイクを知る〉 ポイントメイク② アイカラーを使用し目元のメイクができるようになる。						
9回目	〈メイクを知る〉 ポイントメイク③ アイライン効果、ビューラー・マスカラの効果を学ぶことができるようになる。						
10回目	〈メイクを知る〉 ポイントメイク④ 健康的なリップ、血色とバランスの良いチークを学ぶことができるようになる。						
11回目	〈メイクアップチャレンジ〉 テーマに沿ったフルメイクアップができるようになる。						
12回目	〈ヘアアレンジを知る〉 ヘアスタイルと身だしなみ・ヘア道具を学び、清潔感のあるヘアアレンジができるようになる。						
13回目	〈メイクアップ・ヘアアレンジチャレンジ〉 テーマに合わせたメイクアップとヘアアレンジを自分自身に行い表現できる。						
14回目	★〈期末試験〉試験課題あり・実技テスト						
15回目	★〈トータルコーディネート〉 制服着用でのコーディネートを行う。メイクとヘアをシーンに似合わせる事ができる。						
準備学習 時間外学習	授業後から毎日意識し取り組むこと。 宅学習1回60分は復習する。 <u>の積み重ねが重要になります。</u>						
評価方法	・実技テスト(課題有。時間制限有)100点						
受講生へのメッセージ	楽しいオシャレの装いももちろんですが、第三者から見られたとき「素敵だな」「美しいな」など好感を持たれる装いを学ぶことで、円滑なコミュニケーションを可能にすることができます。自分自身では気づけないあなたの良さをこの授業で知り、もっと活かしてほしいと思います。楽しく、そして真剣に取り組んでほしいと考えます。使用道具などが多々ありますので、準備や片付けは丁寧に素早く行いましょう。忘れ物等無いようにお願いします。						
【使用教科書・教材・参考書】							
適宜プリント配布。プリントを収納できるファイル等持参。各回でお知らせする美容道具(私物+グループで学校美容教材)							